くにさきとう

岩戸寺国東塔

くにさきとうって なに？

　くにさきとうは くにさきはんとうで つくられてきた いしのとうだよ。
　なくなったひとの たましいを なぐさめるための いしのとうを ほうとうというよ。くにさきはんとうにある ほうとうは はすの はなのような だいざがついているのが めずらしくて、うつくしいから くにさきとうと よばれているよ。
　いわとじの くにさきとうは、はなのような だいざが とくに きれいで、とても とくちょうてきなんだよ。
　みんなも くにさきとうを どこかで みたこと あるかな。

▲いわとじの くにさきとう

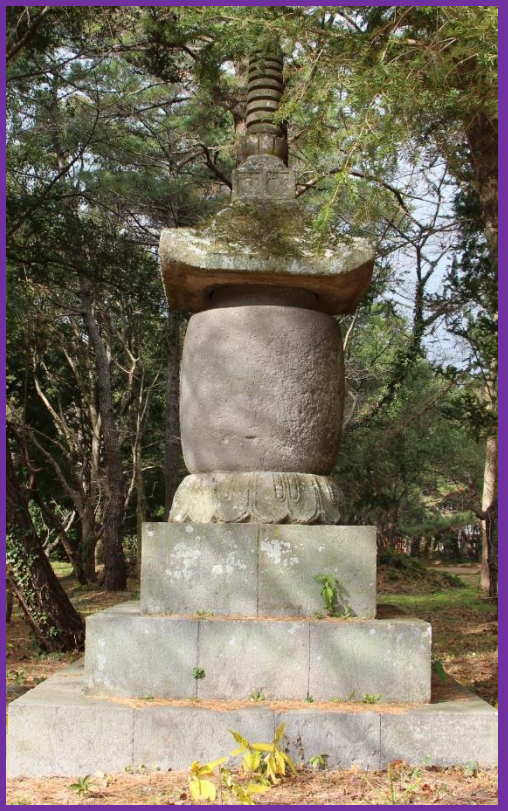
▲はすのはなのような だいざ

くらべてみよう

いろんな くにさきとう

▲いわとじ

▲しょうおんじ



▲べつぐうしゃ

▲かまがさこ

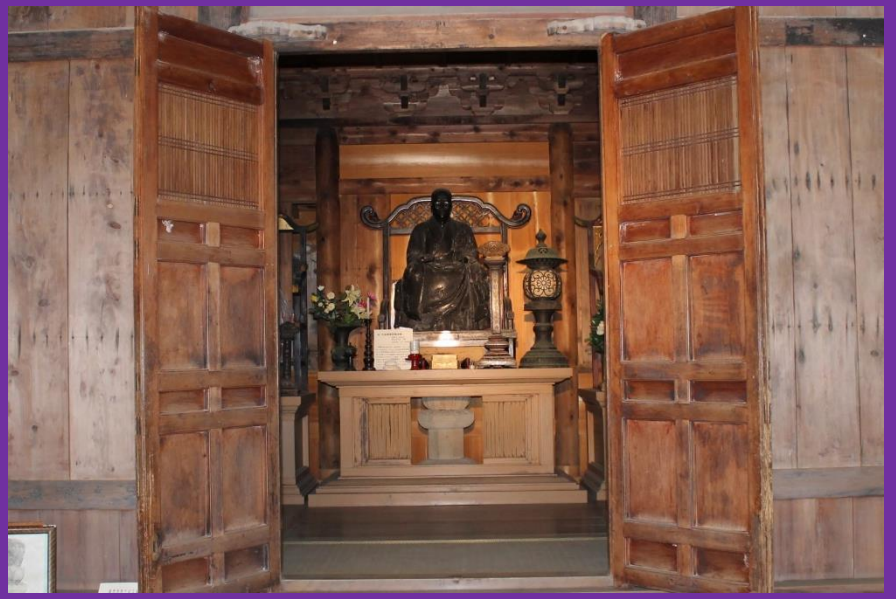
おぼうさんが しゅぎょうする ところ

泉福寺仏殿

おぼうさんが しゅぎょうする ところって どんなところ？

　せんぷくじという おてらのぶつでん(ぶつぞうを まつるばしょ)だよ。
　せんぷくじは そうとうしゅう(ぶっきょうの おしえの ひとつ)の ぶつでんとしては、きゅうしゅうに ひとつしかなくて いちばんふるい めずらしい たてものだよ。
　おぼうさんたちは ここで ざぜんを おこなっていたよ。ざぜんは、ひざを くんで すわって、こころを しずかにして じぶんを みつめなおすという しゅぎょうの ことだよ。
　みんなは しゅぎょうをしてみたいと おもうかな。

▲せんぷくじ ぶつでん



▲せんぷくじ かいざんどう

あしかがたかうじのぞう

木造足利尊氏坐像・伝

あしかがたかうじのぞうってなに？

あしかがたかうじは かまくらじだいからむろまちじだい(およそ７００ねんまえ)に いきたむろまちばくふのしょうぐんだよ。

いくさ(たたかい)で なくなったひとたちの たましいを なぐさめるために、あしかがたかうじの めいれいで ぜんこくに あんこくじがつくられたよ。

ぶんごのくに(むかしの おおいたけんの よびかた)のあんこくじは、さいごに つくられたんだよ。

あしかがたかうじのぞうとつたえられている このぞうは、くにさきまちの あんこくじにまつられているよ。

▲もくぞう あしかがたかうじざぞう

▲あんこくじ

やよいじんのムラ

安国寺集落遺跡

やよいじんのムラって どんなところ？

　やよいじんのムラは やよいじだいという じだいに いきていた ひとたちが くらしていた ムラだよ。

　やよいじだいは およそ２０００ねんまえ、ひとが たんぼを たがやして、こめを つくりはじめた じだいの ことだよ。

　そのころ ひとが あつまって せいかつするようになって、ムラができたよ。

　くにさきしでは、１８００ねんまえに やよいじんが くらしていた ムラのあとが みつかっているよ。そのムラのあとを もとにして、たかゆかたてもの(やよいじんが すんでいた いえ)をつくっているよ。

▲あんこくじ しゅうらくいせき

▲たかゆか たてもの

どうして「ムラ」は カタカナなの？

　むかし ひとが あつまって せいかつするように なったころ、いまと おなじように むらや まちという なまえを つけていたわけでは なかったんだよ。

　げんだいに なってから、ひとが あつまって せいかつしていた ばしょを 「ムラ」とよぶことに したけど、いまあるむらとは ちがう ものなので、カタカナで かくように しているよ。

◀あんこくじしきどき

　あんこくじしゅうらくいせきで みつかった どき(つちで できた つぼ)だよ。

　つぼの くちの ぶぶんが ひらがなの「く」みたいな かたちを しているのが とくちょうだよ。

　もようを かいているのも みえるね。

みうらばいえん
せんせいのいえ
三浦梅園旧宅

みうらばいえんせんせいのいえってなに？

むかし、みうらばいえんというひとが すんでいたいえだよ。ばいえんは じぶんのちからで ものごとをかんがえるがくもん、てつがくをしたひとで、じょうりがくというがくもんを つくったよ。

このいえは ばいえんが せっけいしたもので、ばいえんじゅくというじゅくをつくって がくもんをおしえていたよ。

みうらばいえんは ほんとうはすすむ、または あんていというなまえなんだけど、ばいえんじゅくの せんせいということで、ばいえんせんせいと よばれていたんだよ。

▲みうらばいえん きゅうたく

▲ばいえんせんせい

ばいえんせんせいが
かいたほん

三浦梅園遺稿

ばいえんせんせいが
かいたほんってなに？

ばいえんは、じょうりがくを ほんに まとめようとしたよ。

ばいえんは すべてのものが き(気)でできているとして、その ほうそく(きまり)を じょうりと なづけたよ。じぶんで かんがえた このよのほうそくを ほんに まとめるために じんせいを かけて かきつづけて、べんきょうもしつづけたよ。

ばいえんが のこしたほんのかずは とてもおおいんだよ。みうらばいえんしりょうかんで みることが できるから、きょうみが あったら いってみよう。

▲みうらばいえん いこう

▶ばいえんてんきゅうぎ
ばいえんは れきしや
てんもんがく、いがくなど
いろんながくもんを
べんきょうしていたよ。

おにづかこふん

鬼塚古墳

おにづかこふんって なに？

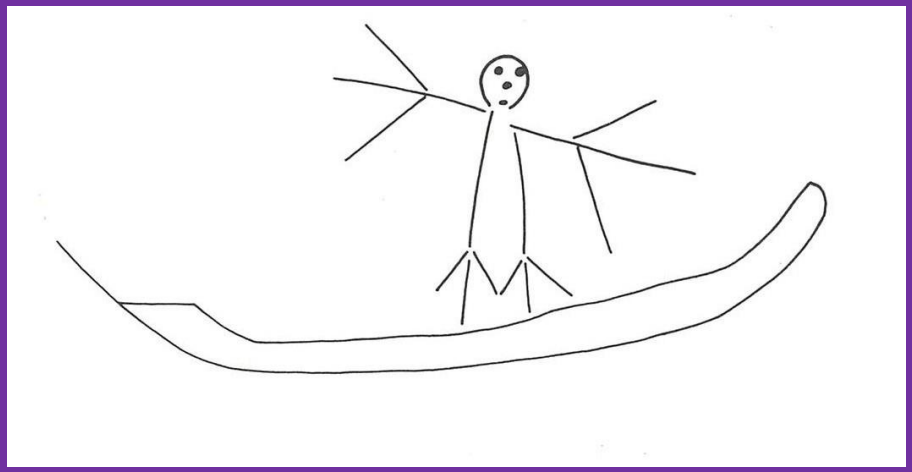
おにづかこふんは、およそ１５００ねんまえに つくられた おはかだよ。

おにづかこふんは なかの かべに いろんなえ(へきが)が のこっているのが めずらしいんだよ。

てつでできた やじり(やのさきっぽ)や すえき(おさら、つぼなど)も はいっていたよ。なくなったひとと いっしょに いれることで、なくなったひとが ちからをもっていたひとだ ということが わかるようになっているよ。

おにづかこふんの ちかくには、ほかにも たくさんの こふんが あるよ。

▲おにづかこふん



▲へきがの ひとつ
ふねに のっているひと。

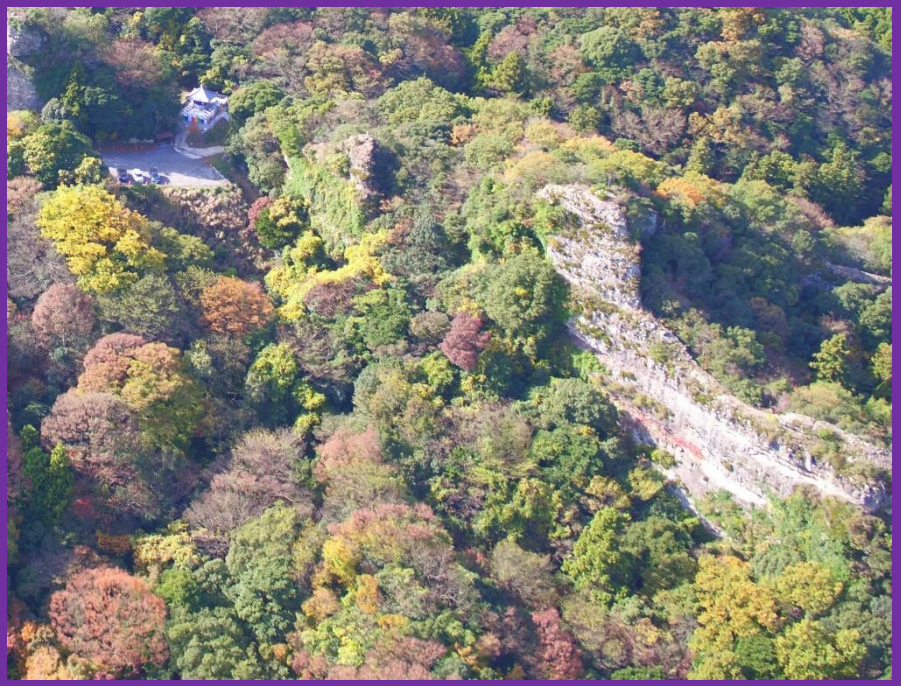
もんじゅやば
文殊耶馬

もんじゅやばって
どんなところ？

　もんじゅせんじという おてらの まわりにある、おおきないわや はやしが とてもすばらしい けしきを つくっているよ。そのけしきを もんじゅやばとよぶよ。

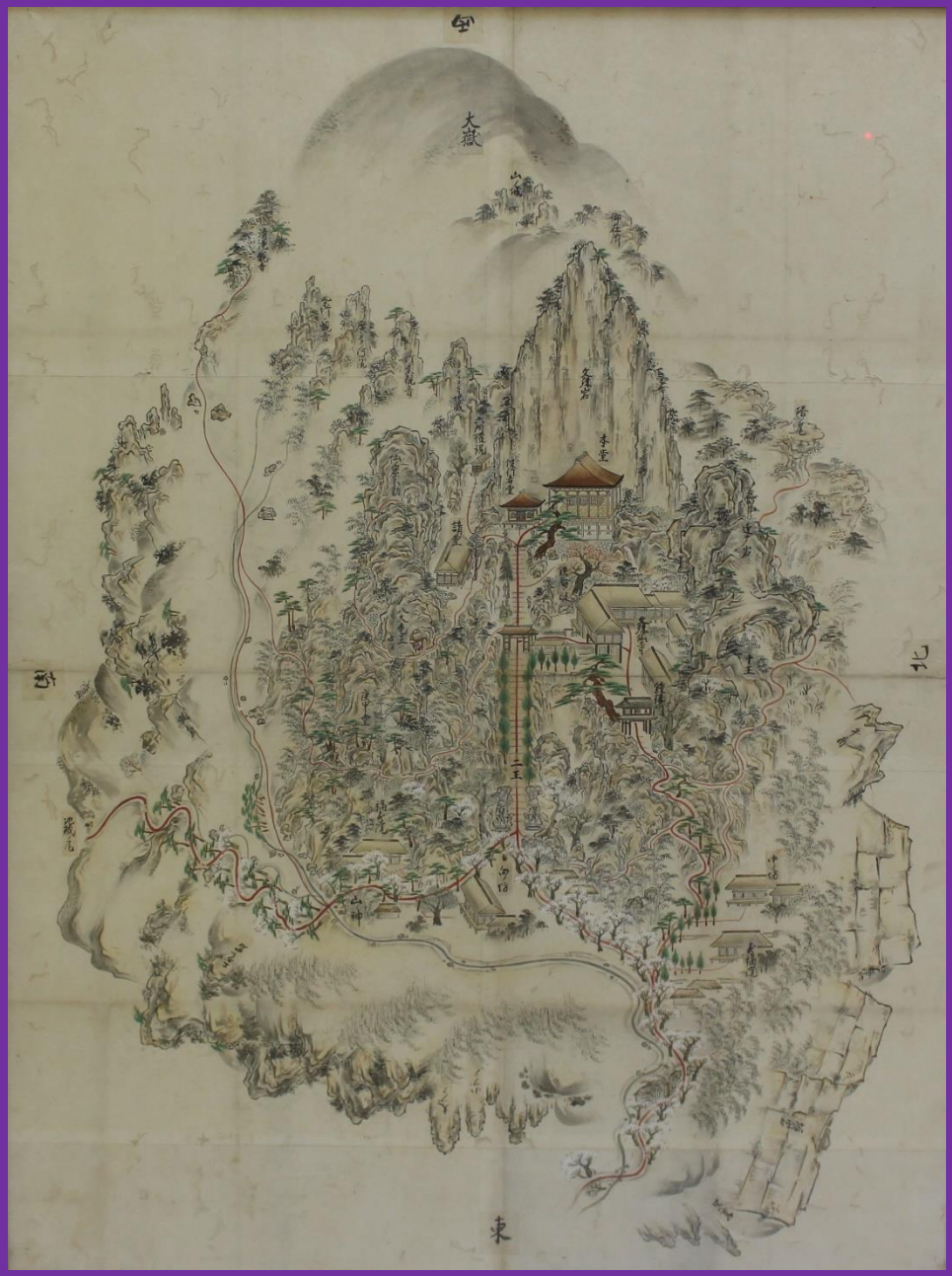
　むかし、えどじだいに このうつくしいけしきを えがいたえも のこっているよ。みうらばいえんも もんじゅやばのうつくしさを かんし(かんじだけで つくるし)にのこしているんだよ。

　むかしからずっと ひとびとに きれいだと おもわれてきた ふうけいが、いまも のこっているんだね。

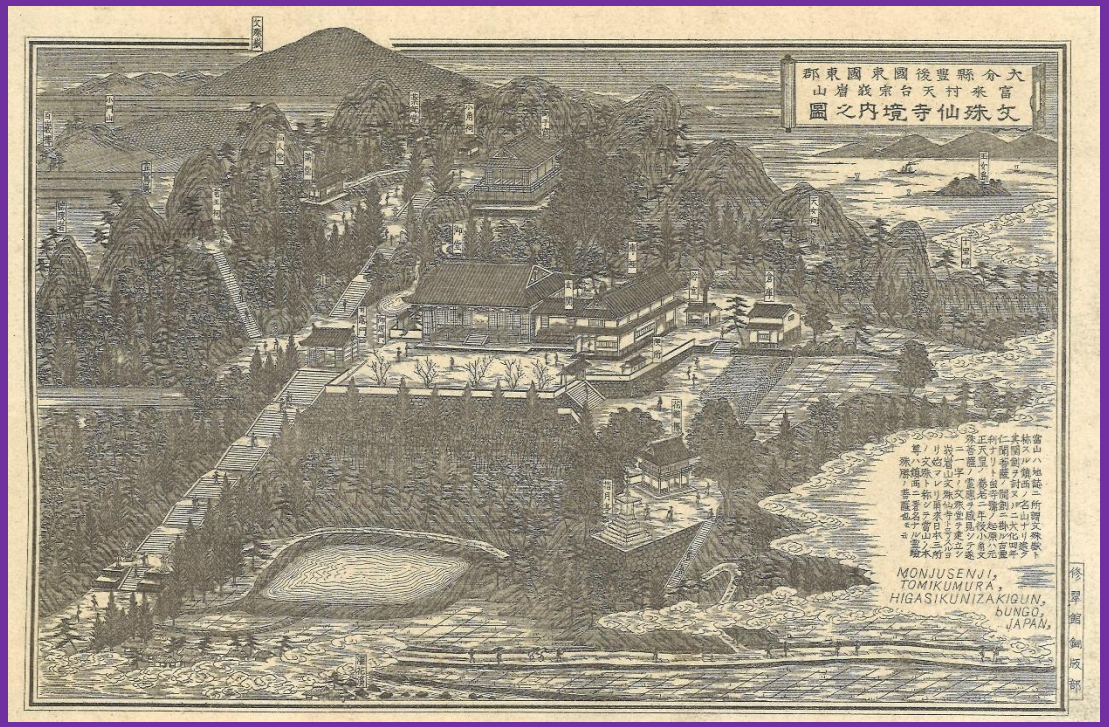


▲もんじゅやば

▲もんじゅせんじと もみじ



▲えどじだいに かかれた え



▲めいじじだいに しゅっぱんされた はんが

もんじゅせんじと そのまわりの
ふうけいは、むかしから たいせつに
されてきたことが わかるね。
みんなは みたこと あるかな。

しげみつけ

重光家住宅主屋

しげみつけってなに？

　しげみつけは、くにさきの いわとじむら(いまの くにさきまち いわとじ)でうまれた よしたけとうりという せっけいし が せっけいした いえだよ。

　よしたけとうりは こっかいぎじどうの せっけいを したひとだよ。こっかいぎじどうの せっけいずには１１８てんもの おうぼがあったけど、とうりの おうぼした ふたつのせっけいずは １とうと３とうにえらばれたんだよ。

　しげみつけは どくとくなかたちのやねが どっしりしていて おちついた たたずまいだよ。１１メートルぐらいの ながいろうかに つぎめがないことも とくちょうだよ。

▲しげみつけ じゅうたく しゅおく

▲こっかいぎじどう

くにみかぶき

国見歌舞伎

くにみかぶきってなに？

えどじだいの なかごろ(およそ２００ねんまえ)に むらのごらく(たのしいこと)として したしまれていたよ。きつきのはんしゅ(おとのさま)が きたときに、じもとのわかものたちが えんじたのが はじまりだとも いわれているよ。

ひとが すくなくて なんどもちゅうだんしていたけど、なくならないように じもとのひとたちが たちあがり、へいせい５ねんにくにみまちいなかかぶきあいこうかいを つくったよ。そのご へいせい２０ねんにくにみいなかかぶきほぞんかいができて、へいせい２１ねんには くにみかぶきに なまえをかえているよ。

▲くにみかぶき